

学校評価結果（平成29年度）

I 自己評価

1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・心身ともに元気に明るい子どもを育てる。
- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

2. 本年度の重点的に取り組む目標、計画

子どもに様々な体験を通し人間としての基礎の部分の成長を促す
職員間での情報の共有化の密度を高め、子どもの共通理解を深める
地域の子育ての支援を積極的に行う

3. 評価項目の達成及び取組状況

年間の指導計画並びに保育内容	子どもの成長並びに1年間の行事を考慮し年間指導計画を立て、それに基づいて保育を行うことが出来た。また保育の内容についても子どもたちの成長度合いに合わせ、関心が持てるように工夫した。
子どもへの職員の共通理解	職員一人一人が子どもの様子をしっかりと観察し、些細な変化も捉えられるように心がけ、気が付いた際には、全職員への報告並びに共通理解を図り、対応した。
教育者としての資質の向上を図る	日々保育の様子を職員間で話合うことにより、自らの保育を省み客観的に捉え、また研修にも積極的に参加し、保育の質の向上を図ることが出来た。
地域の子育てセンターとしての活動	日々、幼稚園として保護者の相談にあたりるとともに、親子未就園児教室においても、子育ての相談や情報発信に努め、また新たに満2歳以上を対象に親子体操教室を開催し地域の子育ての貢献に努めた。

安全面や施設面での取り組み	日々設備や施設の点検を実施し、都度改善を行った。また交通安全指導や避難訓練を行い災害時の対応への意識の向上を図った。
---------------	--

4. 学校自己評価の総合的な評価結果

職員全体で教育目標を新たに意識し直し、子どもの人間としての基礎を育てる保育を意識し、保育に行うことが出来た。また職員同士での話し合いをしっかりと行うことにより子どもの共通理解をより深くすることが出来た。

また地域の子育て支援センターとしての活動を充実させ、とりわけ親子体操教室により、未就園児の来園数を増加させることが出来た。

5. 今後の課題

周りの新制度への移行の状態を見極めつつ当園の特色である丁寧な保育子どもの個々の成長に即した保育をより充実させ、幼稚園の価値を高めることに努め、地域に根差した幼稚園になれるよう研鑽に励む。

II 学校関係者評価

幼稚園関係者の方々には主に行事を通して日頃の保育の成果を見て頂き適正に運営されているとともに、29年度の自己評価についても適正であると認められた。

今後も子どもたちの健全な成長のためにより一層頑張っしてほしいとの言葉を頂きました。